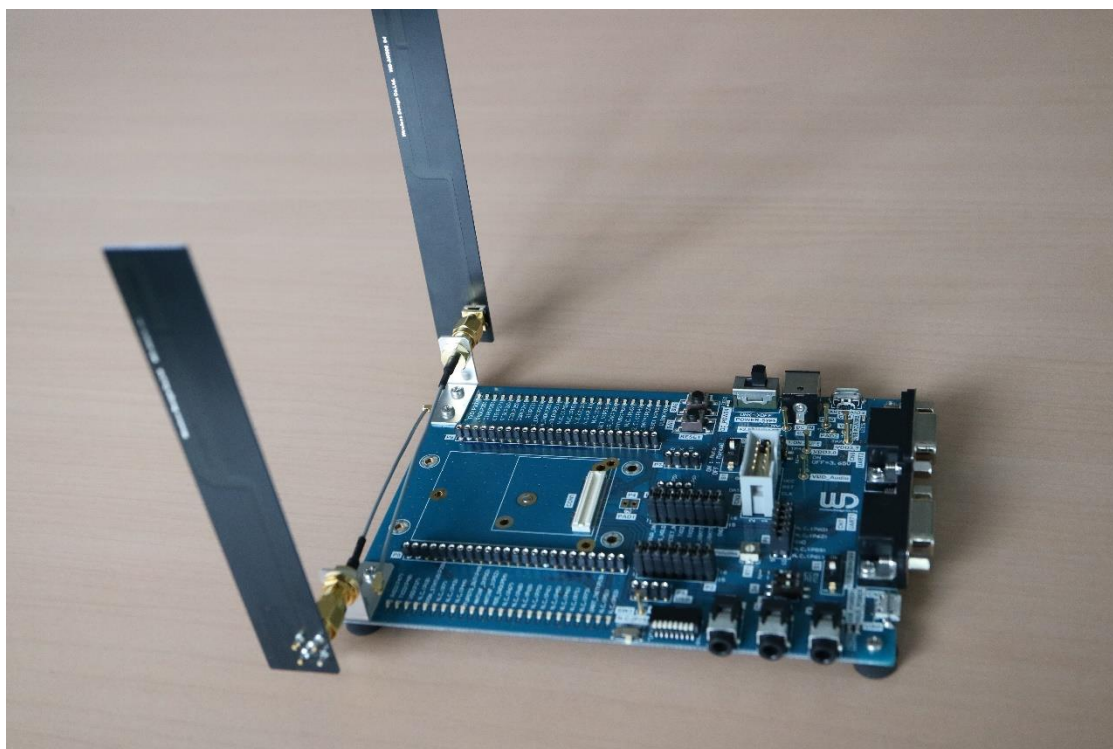


# KDDI LTE 通信モジュール 評価キット KSDK6

(KYM11/KYM12 用補足)



ユーザーズマニュアル ハードウェア編 KYM11/KYM12 向け補足

第 0.2 版

2017 年 10 月 07 日

株式会社ワイヤレスデザイン



---

## 目次

1. はじめに .....	2
1.1 概要 .....	2
2. 基板詳細 .....	2
2.1 外部接続コネクタ .....	2
2.2 ジャンパポスト .....	2
2.3 信号取り出しソケット .....	2
2.4 マイク、ヘッドフォン等の接続 .....	3
2.5 動作モードの設定 .....	4
2.6 LED 表示名 .....	4
3 アンテナご使用時の注意事項 .....	4

## 1. はじめに

### 1.1 概要

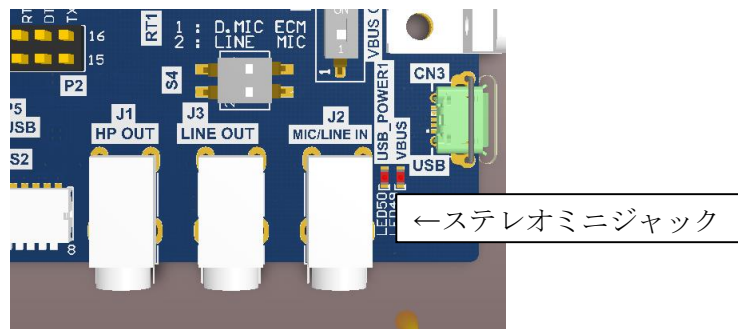
このドキュメントでは KSDK6 KDDI LTE 通信モジュール評価キット (SKM32 用 KYM11/KYM12 対応版) を、KYM11/KYM12 で使用する場合の補足事項を説明します。

その他の機能は SKM32 と共通ですので本編を参照してください。

## 2. 基板詳細

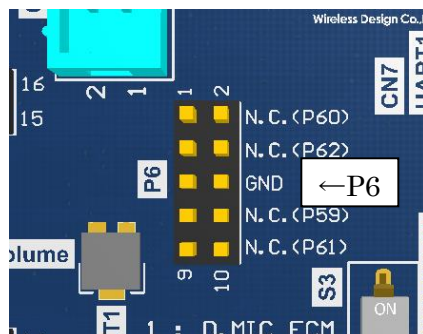
### 2.1 外部接続コネクタ

アナログ音声入出力 3.5 φステレオミニジャック×3 J1,J2,J3



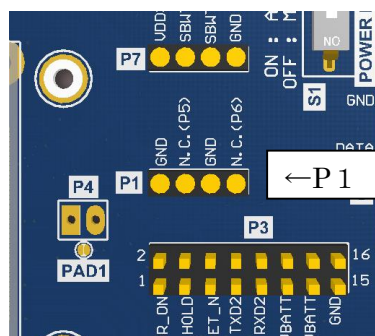
### 2.2 ジャンパポスト

音声入出力切り分け P6



### 2.3 信号取り出しソケット

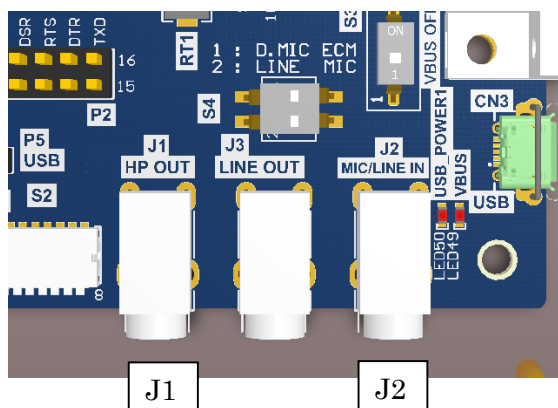
AD/DA: P1



## 2.4 マイク、ヘッドフォン等の接続

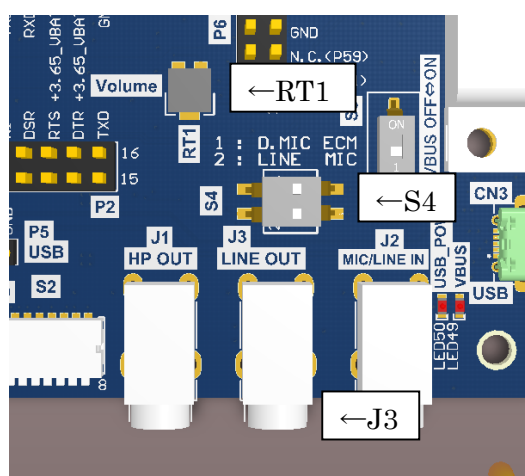
通信モジュールの音声入出力に接続するためのアンプ回路を有しています。パソコン等で使用されるヘッドセットなどを接続することにより音声通信が行えます。

- ① MIC/LINE IN(J2)にマイクまたはライン入力を接続します。



- ② マイクの仕様、またはラインにより S4 を設定します。

エレクトレットコンデンサマイク利用	: 1 番オン 2 番オン
ダイナミックマイク利用 ※	: 1 番オフ 2 番オン
オーディオ装置 LINE 入力	: 1 番オフ 2 番オフ



※ダイナミックマイクを利用する際に 1 番をオフに設定されていないとマイクを破損させることがありますので、ご注意ください。

- ③ HPOUT(J1)にヘッドフォン、あるいは LINEOUT(J3)にオーディオ装置 LINE 出力を接続します。音量は Volume(RT1)で調整してください。

### ○MIC/LINE IN の利得に関して

MIC/LINE IN の利得は固定となっています。

ヘッドセットのマイク感度によってはマイク音が大きすぎたりする場合があるかもしれません。その場合は、ヘッドセットを別のものに交換してご対応ください。

## 2.5 動作モードの設定

MODE1 (7bit)、MODE2 (8bit) 切り替え用 8 素子ディップスイッチ S2 の設定

表 2.4 ディップスイッチ S2 の設定

	MODE1	MODE2	動作モード
MODE1、MODE2 設定による 動作モード指定	ON	ON	WM-M300 互換モード
	ON	OFF	WM-M200A 互換モード
AT コマンドによる動作モード 指定 (デフォルト)	OFF	—	KYM11 モード (デフォルト)

## 2.6 LED 表示名

本基板は SKM32 を搭載することを標準として作成されております。そのため LED の表示名は下記の命名規則に従っています。

例1 N.C.(P41) SKM32 では未使用のピンで、接続コネクタの 41 番ピン

例2 ANTINF\_0(P50) SKM32 と KYM11/KYM12 共通ピンで信号名「ANTINF\_0」  
接続コネクタの 50 番ピン

## 3 アンテナご使用時の注意事項

本基板に付属しておりますアンテナは KYM11/KYM12 での認証は取得しておりません。KYM11/KYM12 の使用時には適合したアンテナをご用意ください。



株式会社ワイヤレスデザイン

〒273-0864

千葉県船橋市北本町 1-17-25 ベンチャープラザ船橋 214 号

TEL/FAX: 047-411-8675

URL : <http://www.wirelessdesign.jp/>